

## \* \* \* \* 第49回 笛吹市義務教育振興会議 \* \* \* \*

12月7日(土)、笛吹市八代小学校において、笛吹市義務教育振興会議が開催されました。「合わせよう顔と顔、つなげよう心と心」～子どもたちの生活習慣を改善する実践を通して～をテーマに会場には、保育士・幼稚園教諭・小・中学校の教諭、PTA、教育行政の方々が集いました。

今年度は(1)気持ちのよいあいさつをする (2)人の話をしっかり聞く (3)正しい言葉遣いをする (4)早寝・早起きをしよう (5)通信機器の使い方にルールを作ろう を柱として、学校・家庭・教育行政が連携をしながら、子どもたちの生活習慣の改善に取り組んでいます。

春日居中学校の取り組みとして、「No!TV・No!携帯・No!ゲームの日」の実践発表があり、パネルディスカッションでは、各学校からたくさんの意見が出され、笛吹の子どもたちのために皆で課題を共有し、その解決に向けて進めていく「第一歩」が明確にされました。



パネルディスカッションの様子



一般参加者の話し合い



学校ごとの話し合い

## AD/HDバーチャル体験

御坂児童センターは、12月12日(木)にAD/HD疑似体験教室を開催しました。AD/HDとは「Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder」の頭文字をとった略称で、日本語では「注意欠陥/多動性障害」と訳されます。本来、子どもは元気に動きまわるものです。しかし、年齢につりあわず不注意や落ち着きがない等の行動が強く現れ、そのことによって、学校生活や友人関係等に問題が生じている場合、AD/HDの可能性がります。



〈御坂児童センター〉

AD/HDは「不注意」、「多動性」、「衝動性」という3つの特性があります。そのため、AD/HDを知らない人たちは、こうした言動を示す子どもたちは親のしつけがなっていないから、本人がわがままだからと誤解しやすく、当事者や親は、そうした誤解にとても傷ついています。

AD/HDを理解するには、その特性と特性から派生する生活の困難さを、できるだけ理解することが大切であるといわれています。そのため、リアルに疑似体験することで、AD/HDのある方々の日常生活における言動や感情、およびそこに生じやすい精神的負担についての理解を深めることができます。

参加者は熱心にDVDを視聴し、AD/HDの理解を深めました。



### ◇◇◇ AD/HDへの対応策 ◇◇◇

- ① AD/HDを正しく理解する
- ② ほめて、認めて、よい言動を身につけてもらう
- ③ 自尊感情を大切にする

# しめかざり親子教室

東山梨社会教育主事の会では、毎年、東山梨管内の小学校を輪番でしめ飾り講習会を開催しています。第5回目となる本年度は、塩山北小学校を会場に開催され、親子8組が参加しました。

社会教育主事の先生が、しめかざりの持つ意味を解説した後、その作り方を丁寧に指導し、参加者は立派なしめかざりを作ることができました。



# 餅つき大会

笛吹市社会福祉協議会 八和会 共催  
八代育美会 八代・境川身体障害者福祉会

昨年の12月26日(木)に、笛吹市八代町デイサービスセンター南側駐車場において、「障がい者地域交流事業」が開催されました。この事業は、笛吹市社会福祉協議会、八和会(八代町在住の現職退職教職員の会)、障がい者地域活動支援センターⅢ型「八代育美会」、八代・境川身体障害者福祉会の共催で行なわれました。「八代育美会」に通所している方々、地域の障がいをお持ちの方々、ボランティアのみなさん、地元の小学生、教員など約400人が参加しました。当日は大変寒い日でしたが、餅つきを始め、輪投げ、グラウンドゴルフ、抽選会なども行なわれ、交流を深めました。つきたてのお餅を食べて、お腹も心も満足した半日となりました。



# 甲州市 ファミリー・サポート・センター

甲州市役所1階に、ファミリー・サポート・センターが開設されました。ファミリー・サポート・センターでは、子育ての手伝いを必要としている方(依頼会員)と手伝いができる方(協力会員)が会員となり、育児の援助を通して地域ぐるみの子育て支援を行なっています。依頼される方に、センターが条件や要望にあった協力会員の方を紹介します。主な依頼は保育園・小学校への送迎、一時的な預かり、産前産後のサポート等です。

子育て援助に興味のある方、援助が必要な方、ご相談ください。

お問い合わせ : 甲州市役所 子育て支援課 Tel. 0553-32-5081

